



第33回日本神経治療学会総会 モーニングセミナー1

私は画像検査をこう使う — 一歩すすんだ臨床現場での役割 —

座長

渡辺 宏久 先生 名古屋大学 脳とこころの研究センター

演題・演者

治療につなげる画像診断

— 複合病理の観点から画像で推定される
「AD/DLB、脳血管障害、髄液循環障害」の関与 —

宮尾 眞一 先生 名鉄病院 神経内科・名古屋市 認知症疾患医療センター

演題・演者

パーキンソン病診療における
画像検査の役割

— 画像所見の経時変化を中心に —

長谷川 康博 先生 名古屋第二赤十字病院 神経内科

日時・会場

2015年 11月27日(金) 8:00~8:50

第6会場 (名古屋国際会議場 1号館 4階 141+142会議室)

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

共催

第33回日本神経治療学会総会
富士フイルム RIファーマ株式会社

後援

日本脳神経核医学研究会／日本核医学会



JCNN

FUJIFILM

富士フイルム RIファーマ株式会社



日本脳神経核医学研究会及び日本核医学会入会のすすめ

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的として平成12年11月3日に発足しました。脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科など臨床診療に携わる医師、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、さまざまな課題に対応するために、ワーキンググループを設置して議論を深めていく予定です。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、核医学の発展のために、是非本研究会、学会にご入会いただきますようお願い申し上げます。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F 日本コンベンションサービス株式会社内
Tel:03-3508-1278 Fax:03-3508-1302 E-mail:infojcnn@convention.co.jp



JCNN